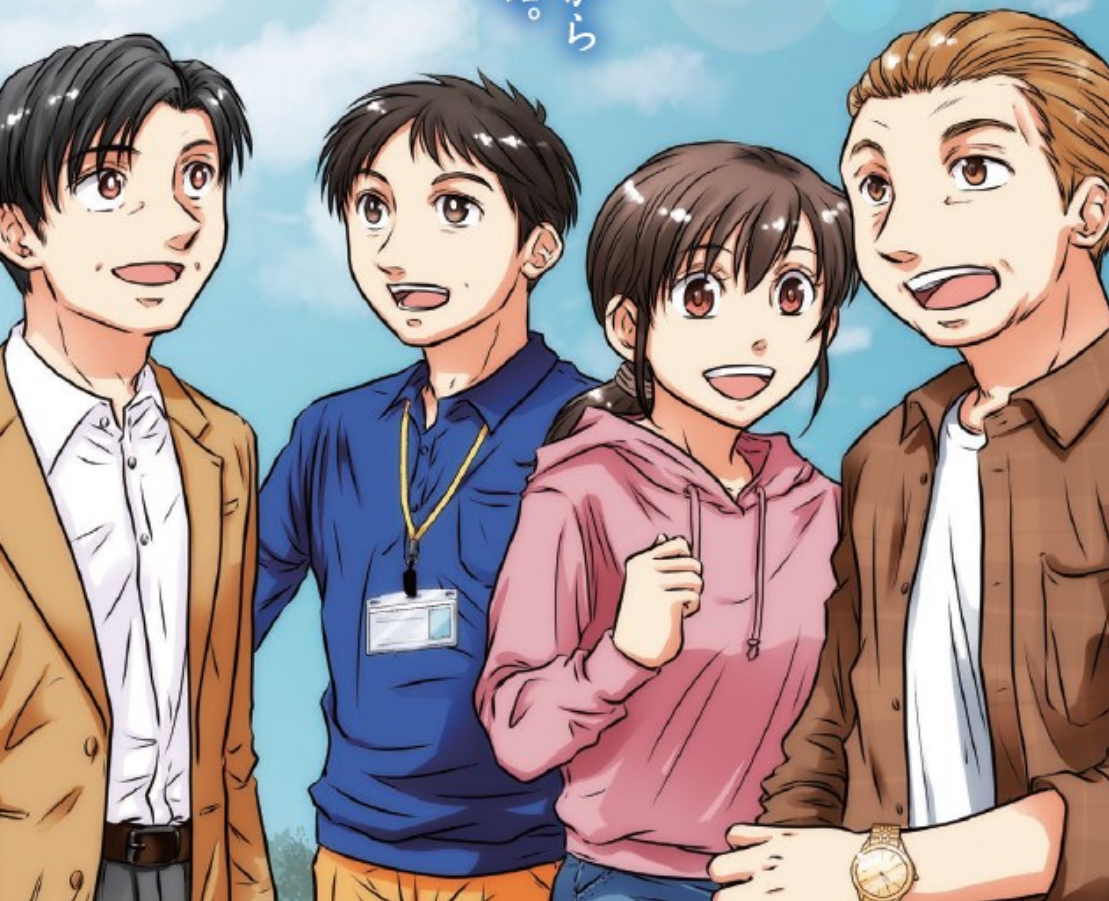


# まんがでわかる 「依存症と犯罪」

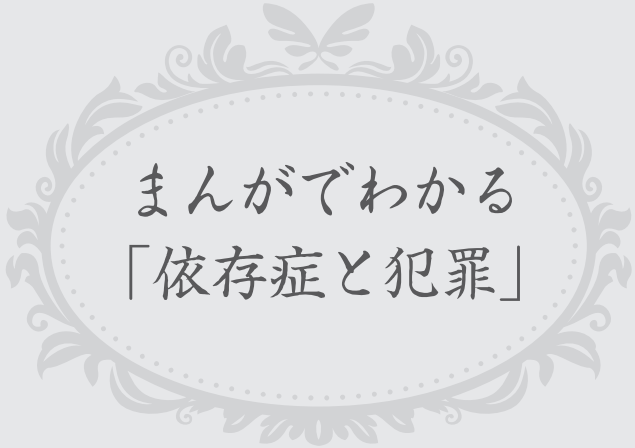
やめられない心の病から  
立ち直った人達の話。



まんがでわかる「依存症と犯罪」

発行：依存症者回復支援センター エール[YELL] / 漫画：大井山佳代 / 法律監修：柳 優希(弁護士) / 制作：アド・クリップ





# まんがでわかる 「依存症と犯罪」

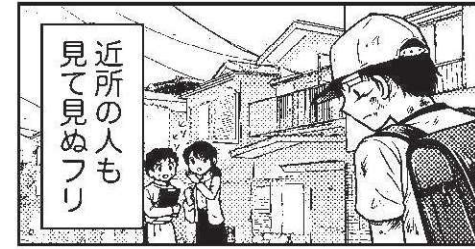
## もくじ

---

- p03 ❶ 小沢 鉄也さん(仮名・40歳) ギャンブル依存症体験談
- p13 ❷ 坂井 誠さん(仮名・52歳) 性依存症体験談
- p23 ❸ 物部 英辞さん(仮名・41歳) 薬物依存症体験談
- p33 ❹ 水上 ケイコさん(仮名・26歳) 窃盗症体験談
  
- p43 「依存症について」
- p53 依存症チェックリスト
- p54 あとがき

「  
今  
から  
でも  
だい  
じょう  
ぶ、  
きっ  
とや  
り直  
せる  
！」









22歳・薬物、住居侵入、傷害で1度目の逮捕







精神病院に  
3ヶ月入院



そこで1ヶ月  
生活した後

3回目の懲役を  
終えて出所した時  
保護観察官が  
更生保護施設を  
紹介してくれました



それでも今までの  
傍若無人さは止まらず



その後、  
保護観察官等の  
方々が調べてくれた  
回復支援施設に  
入所しました



そして、違法薬物の  
代わりに市販薬の  
乱用も始まっていました



自分勝手に行動し、  
酒は飲み  
わははは



施設の規則・門限は  
守らずでした



34歳・薬物、窃盗  
県迷惑防止条例  
違反(盗撮)で  
3度目の逮捕



繰り返す犯行…  
32歳・窃盗、  
児童買春(あつせん)  
で2度目の逮捕



犯行の度に  
逮捕され、懲役も  
3回行きました



さすがにもう  
こんな事は  
やめよう…

普通に  
生活したい



施設のプログラムは  
自分に合わず  
嫌気がさして  
衝動的に1人で  
旅行に行ったり…

しかもその時は  
インフルエンザを  
発病していたのに  
自分勝手でした



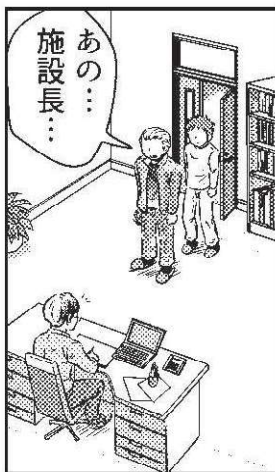
おかえり  
旅行？  
楽しかった？

え…あ…  
ただいま



その事を  
施設長に  
話そうかと…

そっか…俺も  
付き添うよ



あの…  
施設長…

あの…これ…



じゃあ物部さん  
またあとでね

は…はい



勝手なことばかり  
しているのに  
どうして追い出さ  
れないんだろう…

市販薬の乱用を  
続けていた私は、  
今までになかった  
罪悪感を感じました



あの…  
実は俺…

市販薬の乱用が  
止まらないん  
だ…

え…っ!?



……！



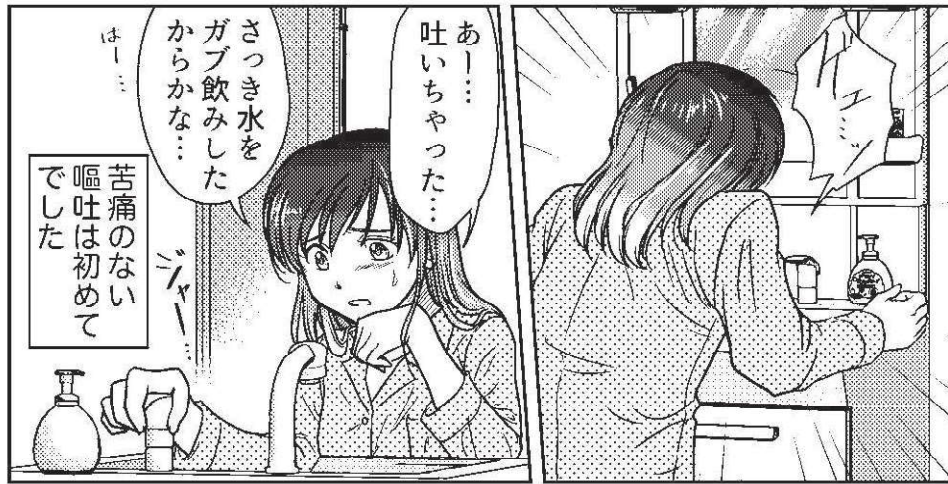
これで…  
施設から  
追い出される…

しっ…施設長!?





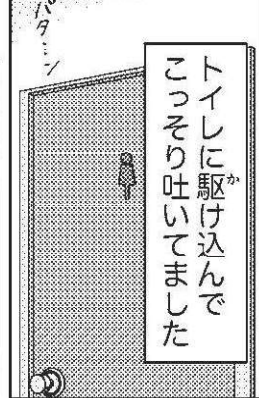








それから私は  
毎食後には  
1ℓの水を飲み



トイレに駆け込んで  
こっそり吐いてました



段々とタイミングと  
吐き方のコツを  
つかんでいき…



いつでも吐ける  
ようになり  
ました



好きなものを  
食べられるのが  
幸せ

その為なら  
食べ吐きは苦痛  
ではありません  
でした



摂取カロリーが  
減り、当然  
体重も減って  
いくので



練習が楽しくなり  
スケートの技術が  
向上し

結果が出る  
ようになりました



食べる事が  
幸せ  
心が安定して  
いました



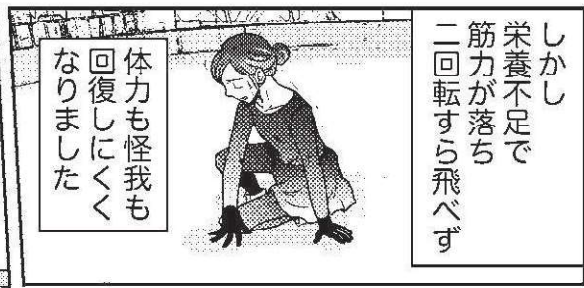
身長160cm、体重40kg  
体脂肪率は7.9%  
まで落とし  
顔は痩せてけて  
腕は細く胸は  
ありませんでした



でも  
練習は問題なく  
こなしており

自分では  
体の細さは  
異常だとは思  
いませんでした

むしろ  
体重管理の  
ストレスが無く  
好きなものを  
食べて  
スケートに  
専念できる事が  
重要でした



しかし  
栄養不足で  
筋力が落ち  
二回転すら飛べず

体力も怪我も  
回復しにくく  
なりました



でも…吐くのを  
やめたら  
体重が増えて  
叱られる…

もうすぐ  
大会がある  
のに…



大きな大会の前は  
不安から暴飲暴食へ

ヤバイ…  
怒られるかも…



そして  
大会にも  
出場し

憧れの選手の  
ように上まで  
頑張ろうと  
練習をして、



オーバー  
トレーニングで  
怪我をしました

うまく練習が  
できず  
食べ吐きは悪化











もう万引きしないと決めたのに……!!

もしかして服の中に……!?

え……ッ!? カゴに入れたはずのお菓子が……!!



もう家族を苦しめない……

もうお母さんを泣かせないと決めたのに……!!



えっと……服の中の物を棚に戻そう……!!

でも人に見られてないかな……

どうしよう……戻すところでも見つかるかも……



留置場に入れられた時私は放心状態でした

万引きGメンに見つかり2度目の逮捕となりました

ちよつとあなた!! こっちにきてくれる?

もう外に出よう……



きちんと正しい環境で正しく治療すれば治りますよ

本当ですか……!

これまで日々苦しんでいたのだから目に光が差し込んだ感じがしました



それから私は私が逮捕されたのを地元にも知られ

想像以上に肩身の狭い日々でした

誰とも連絡取りたくない……

大学もスケートも辞めました……



明日から3連休かあ……どう過ごそうかな……

確か買い置きが足りてないよね

とりあえず食べ吐き用を3日分買って帰ろう

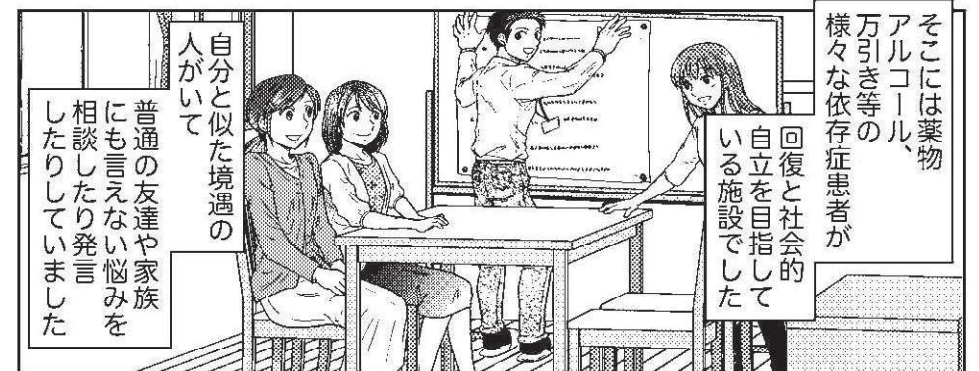
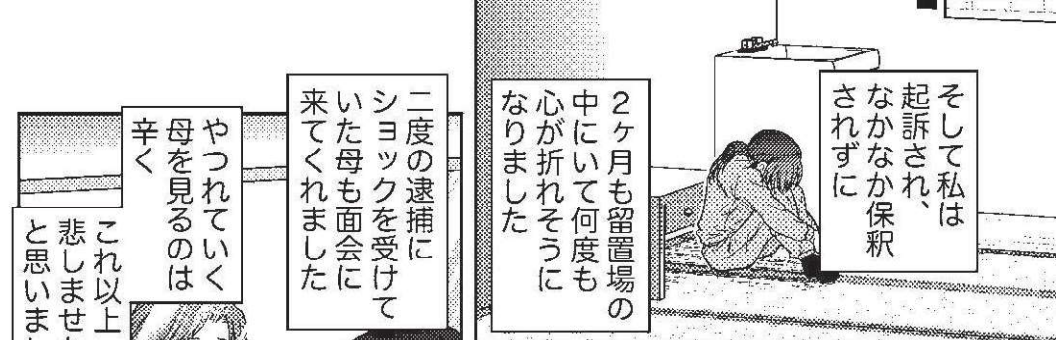


あ……ロールパン美味しそう……!!

これも美味しそう

その後のことは記憶になく、気づいた時には







# 「依存症について」

## 1 「依存症」はこんな病気です

依存症は病気ですから、意思が強ければ克服できるというものではありません。適切な治療や対策が必要です。「依存症」は国際疾病分類（ICD・10）では次のように記述されています。

依存症候群：ある物質あるいはある種の物質使用が、その人にとって以前にはより大きな価値を持っていた他の行動より、はるかに優先するようになる一群の生理的、行動的、認知的現象。依存症候群の中心となる記述的特徴は、精神作用物質（医学的に処方されたものであってもなくても）、アルコールあるいはタバコを使用したいという欲望（しばしば強く、時に抵抗できない）である。（ICD・10、F1x・2）

このように、ICD・10では物質に対する依存として定義されており、アルコール依存、薬物依存等がこれに当たります（これを「物質依存」といいます）。



なお、病的賭博（ギャンブル依存症）やクレプトマニア（病的窃盗）等は、ICD・10では「習慣及び衝動の障害」（F63）として、上記「依存症候群」とは別個のものとして分類されています。しかし、病的賭博等は、特定のプロセスに対する依存と捉えることができ（これを「プロセス依存」といいます。）、「依存症候群」と同様の問題をはらんでいることが多々あります。プロセス依存には、性依存（痴漢、盗撮等含む）、ゲーム依存等も含まれます。平成30年6月公表のICD・11において、「ゲーム障害」（「Gaming disorder」）が新たな疾患として追加されています。

## 2 依存症から回復するために

### （1）はじめに

依存症は「完治」しない病気だと言われています。いったん依存症になると、欲求が収まったと思っても、依存対象を目の前にすると欲求が戻ってきてしま

うからです。ですから「回復」は「完治」を意味しません。「回復」とは、依存対象から距離を置き続けて、身体的・精神的健康を取り戻し、もとの社会的生活ができる状態に戻すことなのです。

依存症から回復しつづけるための効果的な社会資源としては、次のようなものが考えられます。

### （2）医療機関による治療

物質依存の治療の出発点は、原則として入院です。解毒治療から始まり、その後、リハビリ治療へと移行します。解毒治療時には離脱症状が生じることがあるので、それを軽減する治療が行われます。プロセス依存については、認知行動療法等を用いた治療が行われます。物質依存のリハビリ治療時やプロセス依存の治療と並行して、依存症の正しい知識に関する教育、個人カウンセリング、集団精神療法等が行われます。同時に、後述の自助グループ等への参加も促されます。



### (3) 自助グループや回復支援施設の利用

自助グループや回復支援施設の取組みの中心は他の回復者とのふれあいです。どのようにして病気を受け入れ、どのようにして回復したのか、その体験談は何にも勝る説得力を持ちます。

自助グループとは、依存症当事者が参加して、回復を相互支援するグループです。匿名で、誰でも自由に参加ができます。主にアメリカで1936年に始まったAA（アルコホーリクス・アノニマス）で用いられている12ステップ・プログラムを回復の中心に据えて、お互いの経験を語る「ミーティング」を行います。「ミーティング」は、話しっぱなし、聴きっぱなしであり、対話はありません。

回復支援施設とは薬物依存症のダルク（DARC）や、アルコールやギャンブルその他の依存症のマック（MAC）のように、法人等が運営し、「ミーティング」に加えて、多くのところが福祉・医療関係の他職種とも連携して、ケースワークや

心理学的支援、家族支援なども行っています。当事者が支え合うことで再発を防ぎ、また、仲間の回復を見ることが、自分の過去の振り返りや、将来の展望につながります。

## 3 依存症が原因となる犯罪の類型

### (1) 物質依存が問題となる類型の犯罪

#### ① 飲酒運転・飲酒のうえでの暴行

アルコール依存症とは、アルコールの摂取によって得られる精神的、肉体的な薬理作用に強く囚われ、自らの意思で飲酒行動をコントロールできなくなり、強迫的に飲酒行為を繰り返す精神障害です。道路交通法には、酒酔い運転及び、酒気帯び運転の規定があります。飲酒運転を行う者の中にはかなりの割合でアルコール依存症を抱えている者がいるとみられます。また、飲酒のうえで暴行・傷害事件を起こす事案もあり、その中にはアルコール依存症が疑われる方もいると思われれます。



## ② 薬物事犯

薬物依存症とは、薬物の効果が切れてくると、薬物が欲しいという強い欲求（渴望）がわいてきて、その渴望をコントロールできずに薬物を使ってしまう状態をいいます。依存性のある薬物を継続的に使用していると、身体的・精神的な依存が形成され、やがてコントロールが出来ない状態となります。覚せい剤等の違法薬物の使用等は処罰の対象となっていますが、再犯率が高いのが特徴です。

## （2）プロセス依存が問題となる犯罪の類型

### ① 窃盗

窃盗症（窃盗癇）とは、クレプトマニア（kleptomania）の訳語であり、経済的利得を得たいという、一見して他人に理解できる理由ではなく、窃盗自体

の衝動を抑えられずに、反復的に実行してしまう症状です。経済的に困窮しているわけでもなく、盗ったものに関心を持たないのに窃盗を繰り返してしまう場合等には窃盗症の疑いがあります。また、摂食障害とクレプトマニアの関連性も指摘されています。

### ② 盗撮

盗撮行為については、各都道府県の迷惑防止条例違反にこれを禁止する規定が置かれています。盗撮については窃視障害が関係していることが疑われます。窃視障害とは、警戒していない見知らぬ人の裸や衣服を脱ぐ行為、または性行為を見ることに強い性的嗜好を有する状態を指します。



### ③ 強制的性交等・強制わいせつ

強制的性交等・強制わいせつを行う者全てが性依存症というわけではありませんが、そのうちの一定数は、プロセス依存のひとつである性嗜好障害の影響下で行為に及んでいる者がいると考えられます。性嗜好障害は、強迫的な性衝動行動を繰り返す精神障害であり、強迫的性行動をコントロールできないために、社会的損失や経済的損失などがあるにもかかわらずそれをやめることが出来ない状態を指します。

### ④ 横領等

ギャンブルに使う費用のために勤務先等の金銭を横領したようなケースでは、ギャンブル依存症が疑われます。ギャンブル依存症は行為・過程アディクション（嗜癖障害）の一種で、ギャンブルの行為や過程に必要な以上に熱中し、のめりこんでしまう状態を指します。精神疾患のひとつに分類され、医学的な呼称は

「ギャンブル障害」(DSM-5)または「病的賭博」(ICD-10)となっています。

### ⑤ 暴行(DV)

DVは、身体的暴力を伴うものであれば、いうまでもなく暴行・傷害にあたります。DVの加害者は、自分の存在を相手よりも優位に感じたいために、暴力を利用して支配することで優越感を得ようとしています。相手に対して暴力をふるって服従させることで自己効力感が上がるというプロセスに依存するようになった状態がDV依存です。また、アルコール依存症者などの物質依存者も自己肯定感の低さから、やがて自分で自分を思うようにコントロールができなくなったのは配偶者や家族のせいだと考えるようになり、周囲の人間を攻撃するようになるというプロセスをたどって家族に対する暴力を繰り返すようになることもあります。また、この問題については、被害者も加害者からDVを受けながらも加害者との人間関係に執着して逃れられなくなっているケースもあり、このようなケースでは、被害者が特定の人間関係に囚われ逃れられない「共依存」の状態に陥っていることも考えられます。



## 依存症かな?と思ったらチェックリストで確認してみましょう!

### CAGE (アルコール依存症スクリーニングテスト)

お酒の飲み方に問題を  
感じていませんか?



- ☐ 飲酒量を減らさなければと感じたことがありますか? (Cut down)
- ☐ 人から飲酒を非難されて気に障ることがありますか? (Annoyed by criticism)
- ☐ 自分の飲酒に後ろめたさを感じたことがありますか? (Guilty feeling)
- ☐ 神経を落ち着かせたり、二日酔いを治すために迎え酒をしたことがありますか? (Eye-opener)

### LOST (ギャンブル依存症スクリーニングテスト)

ギャンブルに  
問題があるかな?

- ☐ ギャンブルをするときには予算や時間の制限を決めない、決めても守れない (Limitless)
- ☐ ギャンブルに勝ったときに「次のギャンブルに使おう」と考える (Once again)
- ☐ ギャンブルをしたことを誰かに隠す (Secret)
- ☐ ギャンブルに負けた時にすぐに取り返したいと思う (Take money back)

### こんなことも考えてみて!

やめられない事が  
ありますか?

- ☐ 慣れてきたら物足りなくなる
- ☐ 気がつくとそのことを考えている、または多くの時間を費やしている
- ☐ それをしていないと不快になる (不眠、イライラなど)
- ☐ 健康や生活に悪影響が出ているとわかっているのにやめられない
- ☐ それによってあなたが傷ついたり、周囲の人を巻き込んだりする



※ICD-10(国際疾病分類第10版)の依存症診断項目を参考に作成  
(うえむらメンタルサポート診療所 院長 上村敬一)

### 上のチェックリストでひょっとしたら?

と思ったら早急なご相談をお勧めします。  
その他の依存症チェックリストもホームページで確認できます。  
依存症は適切な支援を受けないと進行し続ける病気です。  
勇気を出して一歩前に。



## あとがき

依存症は完治しない病気と言われています。アルコールや薬物、ギャンブル、窃盗、盗撮などの性的行為等への依存症者のとらわれは、とても強いもので一度依存症になると何年やめていても、いったん始めてしまうと、もとの悪循環に簡単に戻ります。

ところが、依存症に対するこのような知識がない状態で、矯正施設や病院で一定期間、依存行動から離れていると治ったかのような錯覚に陥ります。糖尿病や高血圧と同じです。治ったわけではありません。依存行動から離れて即規則正しい生活をすることで、悪化が防がれているだけです。治ったかのような錯覚している状態で、意志の力だけをたよりに依存症の再発や再犯を防ぐことはできません。

エールでは、このように依存症という病気で、再発や再犯を繰り返している(可能性のある)方々に医療機関や福祉施設、社会資源を活用し、依存症から離れて再発や再犯のない健康的な生活に向けた土台となる、生活の基礎作りをお手伝いします。また、ご家族の方々の相談にも応じています。